

たばこによるお口への影響

◆非喫煙者のお口の中



きれいな歯と引き締まった歯肉

◆喫煙者のお口の中



歯周病・メラニン色素沈着あり
ヤニ、歯垢、歯石がついている

【歯周病】

喫煙によって、免疫力が低下したり、歯肉の血管が収縮し血流が悪くなることで歯周病菌が増えやすくなります。また、血管が収縮し出血しにくくなることから、歯周病が進行していても自覚症状がないため、気づいた時には進行した歯周病になっていることもあります。

【歯の着色】

ヤニが歯や詰め物にこびりつきます。特に歯と歯の間や裏側は歯ブラシが当たりにくく、歯みがきでは落とすことは難しくなります。

【歯肉の色素沈着】

喫煙をすると、ニコチンやタールなどの有害物質から歯肉を守るためにメラニン色素が作られ、歯肉が黒ずむ色素沈着を起こします。

【口臭】

ニコチンやタールの臭いと歯周病の臭いなどが混ざることにより発生します。洗口液などで一時的には消えますが、完全には消えません。

【口腔がん】

喫煙している人の口腔がんの発症リスクは、吸わない人に比べて 2.4 倍、累積喫煙指数（1日喫煙箱数×喫煙年数）が 60 以上の人は、吸わない人に比べて発症リスクが 4.3 倍高くなります。

【インプラントの成功率の低下】

喫煙による毛細血管の収縮で血行が悪くなることから、インプラントが骨に定着しにくくなります。また、インプラント治療後のインプラント周囲炎の原因となることもあります。

◆受動喫煙にも注意

たばこは吸っている本人だけでなく、煙を吸ってしまう人(特に子ども)のお口の中にも影響を及ぼし、むし歯や歯周病、歯肉の色素沈着を引き起こすことが指摘されています。



～お口の健康を守るためには、**たばこは吸わない**ということが重要です～